

試験番号： IVB - 99 - 123

受付日： 平成 11 年 11 月 22 日

吹込み用セルローズファイバー断熱材の

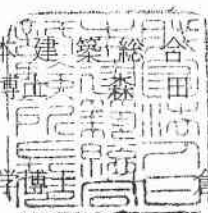
断熱性能試験報告書

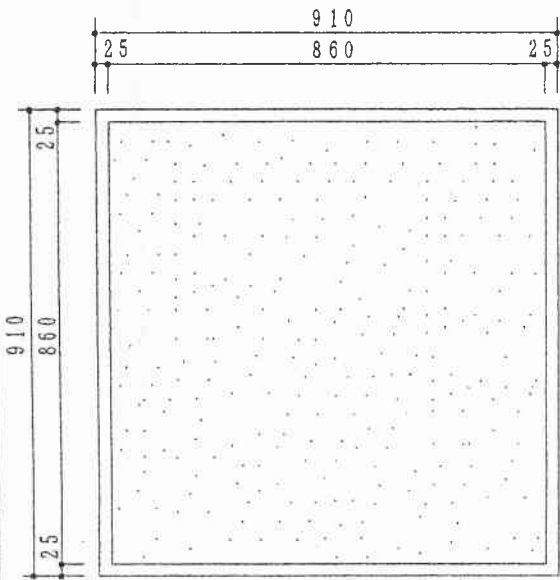
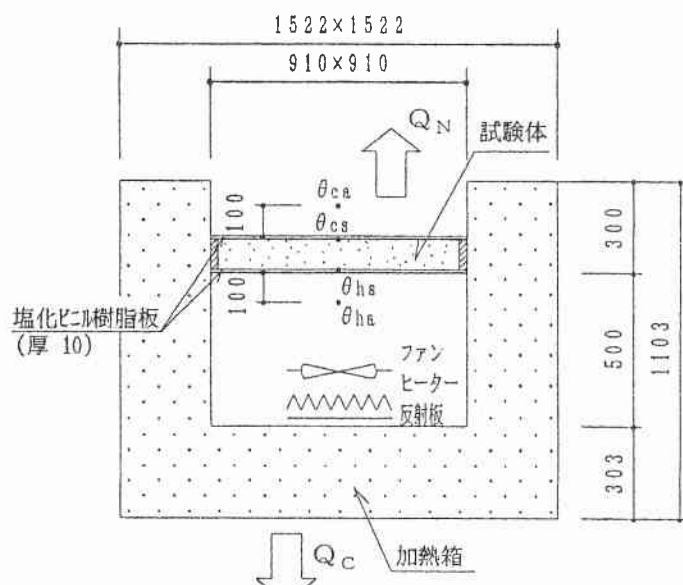
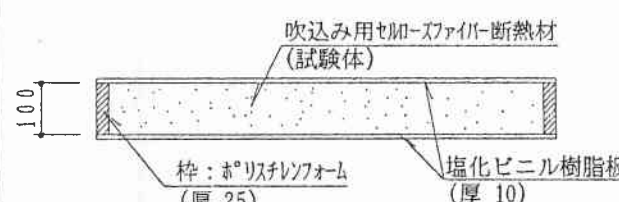
試験結果は、本報告のとおりであることを証明します。

平成 11 年 12 月 16 日

財団法人 日本建築総合試験所
所 長 工学博士 森田 司 郎

技術管理者
環境試験室長 工学博士 倉



依頼者	会社名	吉水商事株式会社		
	所在地	福井県福井市中央3丁目2番15号		
試験体	材料名	吹込み用セルローズファイバー断熱材		
	商品名	ファイバーエース LFG		
	製造会社名	吉水商事株式会社		
	製造年月日	平成11年10月15日		
	ロット番号	111015		
	実測寸法	860 × 860 × 厚さ 100 mm	公称厚さ	100 mm
	実測密度	測定直前 61.2 kg/m ³ 測定直後 60.5 kg/m ³	公称密度	60 kg/m ³
	含湿状態	気乾 ¹⁾		
試験	[試験体概要]		[試験装置・温度測定位置図]	
				
試験体			加熱箱 : ポリスチレンフォーム 厚300 内法寸法 910×910×500 試験体姿勢 : 水平 熱流方向 : 上向き 表面風速 : 冷却側 0.5m/sec以下 加熱側 0.5m/sec以下 試験実施場所 : 第4熱実験室 (20℃、55%RH) (寸法単位 : mm)	
試験方法		JIS A 1420-1994「住宅用断熱材及び構成材の断熱性能試験方法」による。		

断	試 験 年 月 日			平 成 11 年 12 月 3 日			
	測 定 回			第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
熱	発 熱 量 Q_H (W)			15.8	15.8	15.8	15.8
	加熱箱周壁からの流出熱量 Q_C (W)			11.0	11.0	11.0	11.0
	試験体通過熱量 $Q_N = Q_H - Q_C$ (W)			4.8	4.8	4.8	4.8
	冷却側空気平均温度 θ_{ca} (°C)			14.6	14.6	14.5	14.6
性	試験体表面 平均温度	冷却側 θ_{cs} (°C)	(°C)	15.9	15.9	15.9	15.9
		加熱側 θ_{hs} (°C)	(°C)	32.9	32.9	32.9	32.9
能	加熱側空気平均温度 θ_{ha} (°C)			34.1	34.1	34.1	34.1
	試験体平均温度 $(\theta_{hs} + \theta_{cs})/2$ (°C)			24.4	24.4	24.4	24.4
	試験体表面平均温度差 $\theta_{hs} - \theta_{cs}$ (°C)			17.0	17.0	17.0	17.0
	熱箱内外空気平均温度差 $\theta_{ha} - \theta_{ca}$ (°C)			19.5	19.5	19.6	19.5
試	試験体熱流通過面積 A (m ²)			0.7396 (0.860×0.860)			
	熱 貫 流 率 $K = Q_N / \{(\theta_{ha} - \theta_{ca}) \cdot A\}$ [W/(m ² ·K)]			0.33	0.33	0.33	0.33
	熱 コ ン ダ ク タ ン ス $C = Q_N / \{(\theta_{hs} - \theta_{cs}) \cdot A\}$ [W/(m ² ·K)]			0.38	0.38	0.38	0.38
	熱 貫 流 抵 抗 値 $R = 1/K$ (m ² ·K/W)			3.00	3.00	3.02	3.00
結	熱 抵 抗 値 $R_c = 1/C$ (m ² ·K/W)			2.62	2.62	2.62	2.62
果							
備 考	1) 試験体は当所に搬入後、20℃、55%RHの恒温恒湿室内にて11日間、気乾養生した。						
	・ 単位の変換 : 1 W = 0.86 kcal/h						
	・ 相当熱伝導率 = 実測厚さ / 平均熱抵抗値 = 0.100 / 2.62 = 0.038 [W/(m·K)]						
試 験 機 関 名		財団法人 日本建築総合試験所 建築物理部 環境試験室 所在地 : 大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号					
試 験 責 任 者		室長代理 : 倉 橋 岩 夫					
試 験 担 当 者		主 査 : 小 南 和 也					